

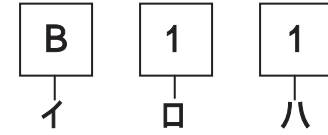
ご使用上の注意

チャンネルについて (周波数表を参照してください)

・使用周波数は周波数帯、グループ番号及びチャンネル番号であらわした3個の記号で表します。

イ ... 周波数帯を表す記号です B : 800MHz
 □ ... グループ番号の表示 1 ~ 6
 八 ... チャンネル番号の表示 1 ~ 6

B型11チャンネルをあらわします



・これらのチャンネルは混信を避けるため、6つのグループに分かれています。同一場所での使用の際は各セットを同じグループ番号にしてください。最大6セットまで使用可能です。グループ番号が異なると混信や妨害が発生する恐れがあります。

使用方法

チャンネル確認---ワイヤレストランスミッターとレシーバーの相互の機器のグループ番号とチャンネル番号が合っているか確認してください。
 電源 ON---電源スイッチを ONにしてください。電源表示LEDが点灯します。電池が消耗してくると電源表示LEDが50BT-Gは赤に変わり、50URは消灯します。電池は早めに交換してください。連続使用での電池の寿命は、アルカリ電池で約8時間です。

(注、使用場所・使用条件により異なる場合があります)

電源 OFF---ご使用後は電源スイッチを元の位置に戻してください。

仕様

50UR(J)

受信周波数	806.125MHz~809.750MHz B帯30チャンネル
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
Squelch Sensitivity	-95dBm
De Emphasis	50 μ sec
Noise Reduction	Expander
S/N比	84dB以上 (100% Dev)
イヤホン出力レベル	32mW以上 (16Ωステレオ型イヤホン/2.4V/10%歪率)
イヤホン出力端子	φ3.5mm ミニジャック
電源	DC 2.4~3V (単3乾電池×2)
電池寿命	8~10時間 (アルカリ乾電池使用時)
表示機能	LED/電源ON(レッド) 受信(グリーン)
外形寸法	63(W)×98(H)×27(D)
質量(乾電池含む)	約140g
付属品	耳かけ型ヘッドホン、 首かけ用ストラップ

50BT-G(J)

送信周波数	806.125~809.750MHz B帯30チャンネル
電波形式	F3E
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
空中線電力	10mW
Noise Reduction	Compressor
マイク入力レベル	ECM -60dBu
インピーダンス	2.2kΩ
入力端子	φ3.5mm ミニジャック×2
表示機能	LED/電源ON(グリーン)、 電池残量警告(レッド)
電源	DC 2.4~3V (単3型電池×2)
消費電流	8~10時間 (アルカリ乾電池使用時)
電池寿命	63(W)×98(H)×27(D) (アンテナ含まず)
外形寸法	約140g
質量(乾電池含む)	タイプピン型マイクロホン、 インタビュー用ハンドマイク
付属品	ベルトクリップ

50BT-G(J)は電波法に定める技術基準適合証明を受けています。

B 帯周波数							
バンド連番	送受信周波数 (MHz)	グループ番号					
		1	2	3	4	5	6
1	806.125	B11					
2	806.250		B21				
3	806.375	B12					
4	806.500		B22				
5	806.625			B31			
6	806.750				B41		
7	806.875			B32			
8	807.000		B23				
9	807.125	B13					
10	807.250						B61
11	807.375			B33			
12	807.500				B42		
13	807.625					B51	
14	807.750	B14					
15	807.875		B24				
16	808.000				B43		
17	808.125					B52	
18	808.250			B34			
19	808.375					B53	
20	808.500		B25				
21	808.625			B35			
22	808.750					B54	
23	808.875		B26				
24	809.000	B15					
25	809.125				B44		
26	809.250			B36			
27	809.375				B45		
28	809.500	B16					
29	809.625					B55	
30	809.750				B46		

ワイヤレスガイドシステム

800MHz B型ワイヤレス 50シリーズ

50UR

B型レシーバー

50BT-G

B型ベルトパックトランスミッター

取扱説明書

このたびはアズデンの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管下さい。



安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- この様な絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この様な絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

アズデン 株式会社

本社 〒181-8533 東京都三鷹市上連雀1丁目12番17号 <http://www.azden.co.jp>
 営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131 E-mail sales@azden.co.jp
 060-34451-01C PRINTED IN JAPAN

1. 主な特長

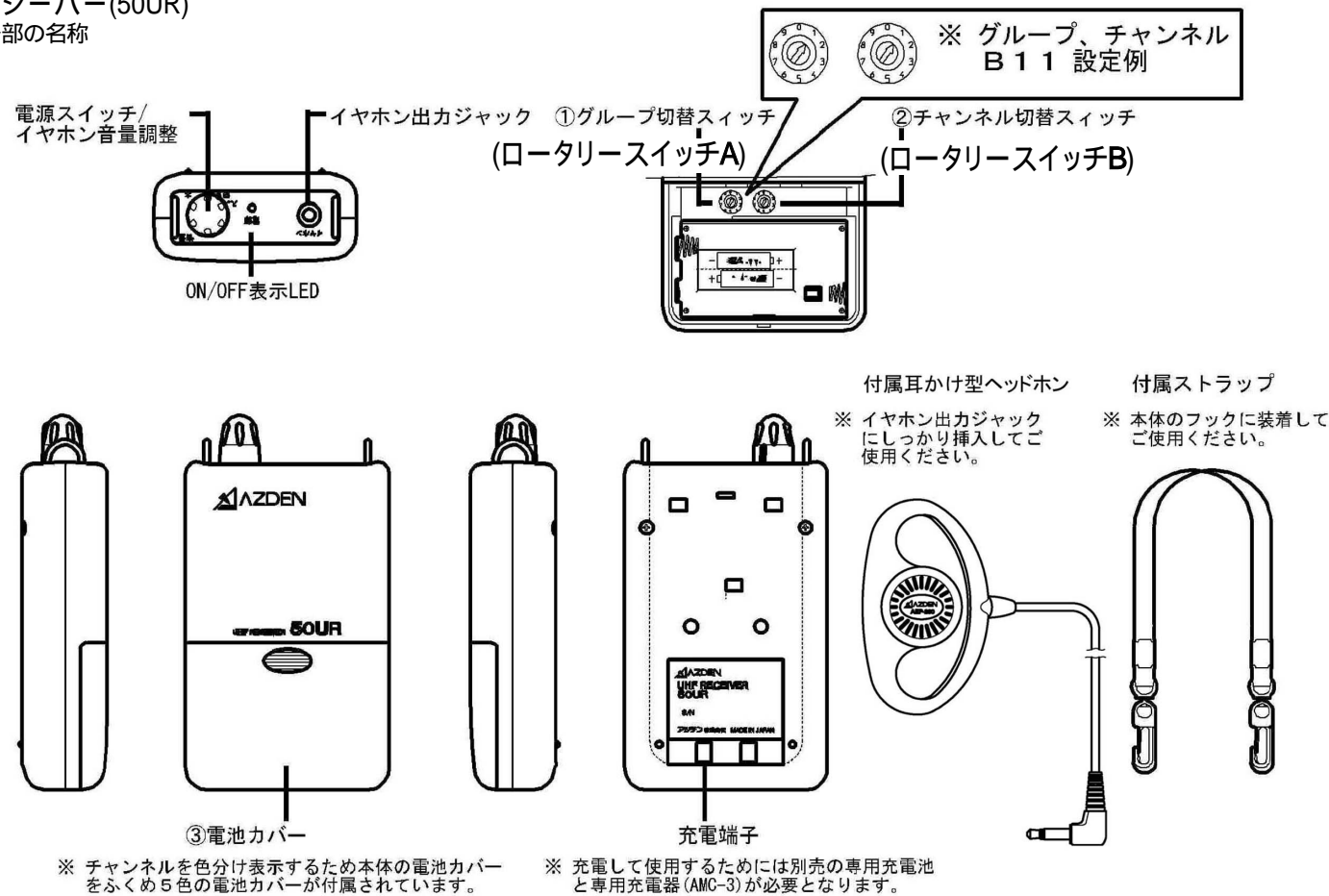
- ・混信に強い30チャンネル切替方式です。
- ・他の電子機器の電波ノイズに影響されにくい1800MHz帯の周波数を使用しています。
- ・ノイズリダクションを搭載していますので、広いダイナミックレンジが得られます。
- ・800MHz帯特定小電力無線局機器の適合証明を受けたワイヤレスマイクロホンです。

2. ご使用上の注意

- ・本機は国内専用機です。海外で使用する時は対応周波数が貴国でも使用可能かAZDEN公認代理店に確認願います。
- ・電池のセットや交換は必ず“電池の交換の仕方”にしたがって行ってください。
- ・マイクの改造、変更等は電波法により禁じられております。改造した機器を使用いたしますと罰せられることがあります。
- ・次のような所でのご使用や保存は故障の原因となりますのでご注意ください。
 - * 湿度の高い場所(風呂場、濡れた床など)
 - * 温度の異常に高い場所(暖房器具の近く、直射日光のあたる所)
 - * 振動の強い所
 - * 埃の多い所
- ・テレビやラジオの近くで本機を使用すると、テレビの画面に色ムラが出たりラジオから雑音ができることがありますのでその時は本機を遠ざけてください。
- ・本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合、ハム(うなり)を誘導することがあります。
- ・マイクに貼付された証明シールは、剥がさないでください。シールが付いていませんと技術基準適合証明の効力が消滅します。

3. レシーバー(50UR)

(1)各部の名称



(2)電池交換の仕方

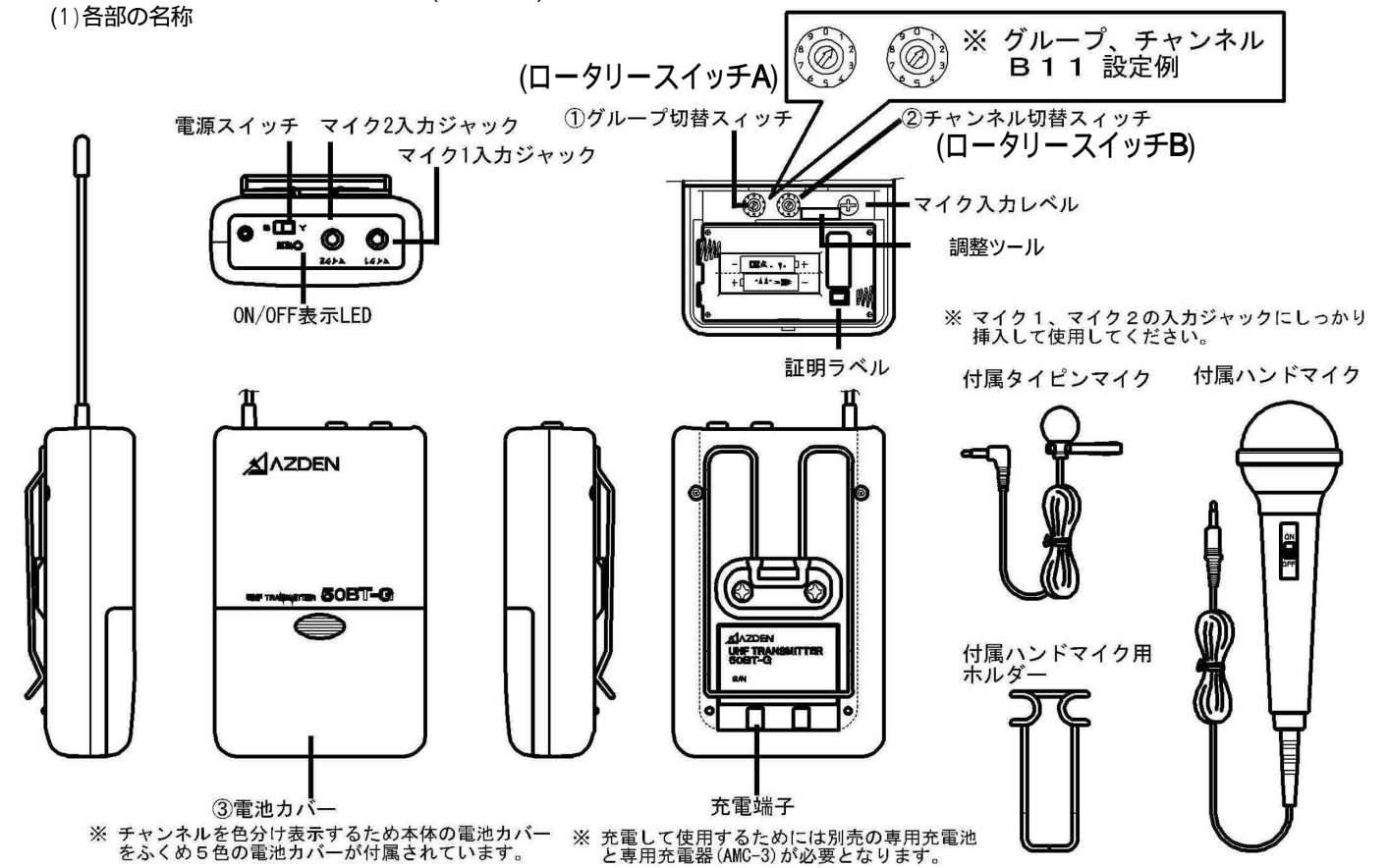
- ・電池カバーを押しながら下に引いてください。電池収納部がでてきます。電池は押しながら引き出してください。
- ・電池の交換のときは電源スイッチを必ずOFFにしてください。

(3)チャンネル設定の仕方

- 受信機のチャンネルは、**グループ切替スイッチ(ロータリースイッチA)**、**チャンネル切替スイッチ(ロータリースイッチB)**の組み合わせで、チャンネルの設定を行います。例えば、上の図にあります”B11”に設定するには、まずロータリースイッチAを調整ツール(送信機の電池ケース内に装着されています)を使い、ロータリースイッチ中心部の矢印が番号1を示す位置まで回して下さい。次にロータリースイッチBの中心矢印が”1”を示すようにします。これでチャンネル B 1 1 に設定されました。組み合わせ可能なチャンネルは、取扱説明書 最後部の周波数リストを参照願います。
- 電池カバー
電池カバーを押しながら下に引いてください。設定したチャンネルに応じて、カバーの色を変更すると運用がしやすくなります。
*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフにして行ってください。オンのままチャンネルを切り替えると故障の原因になります。

4. ベルトパック トランスミッター(50BT-G)

(1)各部の名称



(2)電池交換の仕方

- ・電池カバーを押しながら下に引いてください。電池収納部がでてきます。電池は押しながら引き出してください。
- ・電池の交換のときは電源スイッチを必ずOFFにしてください。

(3)チャンネル設定の仕方

- 送信機のチャンネルは、**グループ切替スイッチ(ロータリースイッチA)**、**チャンネル切替スイッチ(ロータリースイッチB)**の組み合わせで、チャンネルの設定を行います。例えば、上の図にあります”B11”に設定するには、まずロータリースイッチAを調整ツール(送信機の電池ケース内に装着されています)を使いロータリースイッチ中心部の矢印が番号1を示す位置まで回して下さい。次にロータリースイッチBの中心矢印が”1”を示すようにします。これでチャンネル B 1 1 に設定されました。組み合わせ可能なチャンネルは、取扱説明書、最後部の周波数リストを参照願います。

- 電池カバー
電池カバーを押しながら下に引いてください。設定したチャンネルに応じて、カバーの色を変更すると運用がしやすくなります。

(4)マイク入力レベルについて

- マイク入力スイッチは、入力される音声の高低を調整するものです。例えば、付属のタイピンマイクを使い説明時、声の拾いが弱い場合、調整ツールを右に回し、マイク感度を高めて下さい。高めることにより、音声がよく拾われ、聞き手側は、明瞭に聞こえます。

- 注意して頂きたいのは、環境音(隣接の機械の音)がうるさいと、いっしょに拾い聞きにくくなる可能性もあります。この場合は、オプションのヘッドセットマイクHS-12を購入して頂くことを、推奨致します。

(5)マイクの選定

- 標準でタイピンマイク1ヶ、ハンドマイク1ヶが同梱されています。タイピンマイクは、スピーチ者が、胸ポケットと同じ様な位置に付け使います。ハンドマイクは、スピーチ者が他の人にインタビューするときに使います。

- 同梱マイクだと 環境音を拾い、会話が消されるようでしたら、オプションのヘッドセットマイクHS-12を使われることを ご推奨致します。

(6)付属ハンドマイクホルダー

- マイク入力ジャック2に付属のハンドヘルドマイクを付けます。このハンドヘルドマイクは、インタビュー用マイクです。このインタビュー用マイクを保持するために、付属のホルダーを使います。ホルダーは、ベルトに引っ掛けて下さい。リング部分にハンドマイクを置き利用します。